

アトラスタワー町田

ATLAS Tower Machida

No. 16-027-2014作成

新築
集合住宅/その他

発注者	旭化成不動産レジデンス株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	戸田建設株式会社一級建築士事務所 TODA CORPORATION	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携				
施工	戸田建設株式会社東京支店	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他				

町田駅前の新たなランドマークの創出

計画概要

計画地は東京都町田市、JR横浜線「町田」駅前に位置し、このエリア初のペDESTリアンデッキ直通の商住一体の複合開発である。商業施設や公共施設、更に大型公園が近接する都市における利便性に優れた多彩な環境の中で、街との調和を図ったランドマークの創出、都市居住としての質の高い住宅性能をテーマとしたタワーマンションである。

設計コンセプト

敷地北東側に面する旧町田街道は、かつて生糸や絹織物を港へ運ぶのに利用されて「絹の道」と呼ばれていた年代を有している。この歴史を踏まえて「綾」をテーマに捉え、絹が編み込まれたイメージの外観デザイン及び構造を展開している。

アウトフレームの外観は、町田市の景観計画に基づきアースカラーを基調色とし、アクセントカラーとしてホワイトのラインを入れることでタワーの垂直性を強調した。

住宅部分は隣接建物からセットバックした配置とし、採光・通風を十分に確保、屋上や壁面の緑化により、居住性の向上と環境配慮を図る計画とした。



外観イメージ 完成予想図



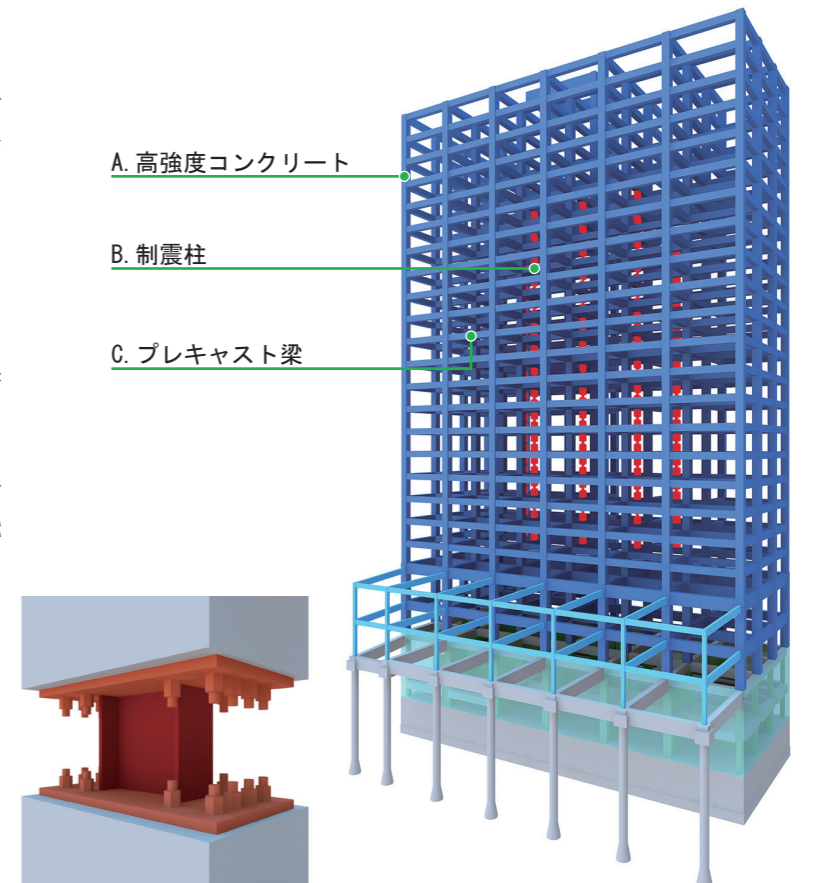
2階 エントランスイメージ 完成予想図

永く住まえる住戸

高強度部材の積極的採用や制振工法を導入することで地震時の建物の主要構造部への影響を軽減し建物の長寿命化と高い安全性を確保している。

また、梁及びスラブ等をPCa化したプレキャスト複合化工法による安定した高品質性能の建物を実現すると共に、省エネルギーに配慮しながらも快適に住まえるために、複層ガラス・省エネ給湯システム「エコジョーズ」・ディスポーザ・LED照明等の設備を採用している。

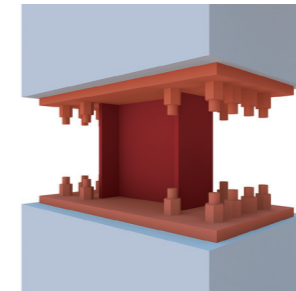
ワイドフロンテージによる大型開口を採用することで、採光性・通風性を確保し自然エネルギーを利用できるパッシブな住環境の向上を図る等、住宅設計性能評価省エネルギー対策においては等級4を取得している。



A. 高強度コンクリート

B. 制震柱

C. プレキャスト梁



制震柱モデルイメージ

構造モデルイメージ



外観イメージ 完成予想図

設計担当者

統括：鈴木宏昌/建築：中島一平、八木和憲/構造：濱田聡、今川祐樹/設備：小川定巳、有馬真人、佐藤達也

建物データ	所在地 東京都町田市	省エネルギー性能	品確法省エネ対策 等級4	CASBEE評価	Aランク BEE=2.4 2010年度版 自己評価
竣工年	2016年				
敷地面積	2,398㎡				
延床面積	19,171㎡				
構造	RC造一部S造				
階数	地下1階、地上22階				

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (品確法劣化対策等級3、高強度コンクリート、制振工法)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物配置、新たなシンボルの形成)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (自然採光、太陽光発電)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型機器)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (躯体のPC化)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (ディスポーザ設備、透水性舗装)